

清純派女優

二十四歳

第三卷 露出調教される主演女優

海老沢 薫 著

内容

■ 著作権について

■ まえがき

■ 第一章 新たなロケ現場は屋内プール

■ 海老沢薫 BLOG

■ 海老沢薫 Web 連載小説

※ 海老沢薫 BLOG

・ ・ ・ 最新作の出版情報や、そのほか各種コンテンツ情報などを配信。

<http://kaoruebisawa.blog.fc2.com/>

■ 著作権について

「清純派女優 二十四歳 第三巻 露出調教
される主演女優」(以下本書と表記する)の
著作権は「海老沢薫」にあります。

・本書のすべての内容は、日本の著作権法、
及び国際条約によつて保護されています。

・「海老沢薫」が事前に書面をもつて許可し

た場合を除き、本書の一部、または全部を、

あらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子フア

イル、ビデオ、テープレコーダー)により複

製、流用、転載、転売することを固く禁じま

す。

・著作権の侵害につきましては、著作権法第

619条などの罰則がありますのでご注意ください

い。

■ まえがき

自ら主演する連続ドラマの撮影現場において、相手役の三流役者、五味の巧みなアドリブの罠に嵌まり、清纯派女優にあるまじき淫らな行為を披露してしまった二十四歳の人気若手女優、我妻結衣。

自らの弱みを握る者達に囲まれた現場で、どんな卑猥な命令にも逆らうことのできない結衣は、無名の三流役者の手によつてさらなる屈辱に塗れていく。

ドラマの新たな撮影現場となるスポーツクラブの屋内プールにやつて来た主演の結衣は、ドラマスタッフから渡された白のワンピースの水着に着替えさせられる。一見清楚な普通の水着に見えたそれは、生地があまりに薄く、それを着た結衣の体はうつすらと肌が透けてしまっていたのだった。

こんな水着姿でお芝居をしなくちゃいけないなんて・・・。

更衣室にある鏡で自分の姿を見た結衣は、その想像以上にセクシーな姿

に 途 方 に 暮 れ 、 こ れ か ら 始 ま る プ ー ル で の 撮
影 に ど う し よ う も な く 嫌 な 予 感 を 覚 え る 。
ス ポ ー ツ ク ラ ブ の 屋 内 プ ー ル は 大 勢 の 人 々
で 溢 れ 、 突 然 現 れ た 水 着 姿 の 人 気 若 手 女 優 に
プ ー ル サ イ ド は 騒 然 と な っ た 。 そ う し て 、 乳
房 や お 尻 の 形 が は っ き り 分 か る 純 白 の 水 着 を
纏 っ た 清 純 派 女 優 に ギ ャ ラ リ ー の 視 線 が 釘 付
け に な る 中 、 つ い に ド ラ マ 撮 影 は は じ ま り ・
・ 。
主 演 の 人 気 若 手 女 優 は 、 ま た し て も 相 手 役
の 無 名 の 三 流 役 者 、 五 味 の 繰 り 出 す 陰 湿 な ア
ド リ ブ の 演 技 に よ っ て 、 ど う し よ う も な い 羞
恥 劇 へ と 巻 き 込 ま れ て い く の だ っ た 。

■ 第一章 新たなロケ現場は屋内プール

空はどんよりと曇り、今にも雨が降り出し
そう、な天気だった。車の中から眺める街の景
色は、通りを行き交う人々の姿も皆どこか憂
鬱そうに映った。この世界に希望なんてある
わけない……。虚ろな眼差しで窓の外を見る
つめる結衣は、心の中でそう呟いていた。
清純派女優として人気絶頂を誇る二十四歳
の我妻結衣は、ある時ドッキリ番組のターゲ
ットにされ、陰湿な仕掛けの罠に嵌められ
てしまった事から一気にその輝かしい運命の
歯車が狂い始めたのだった。仕掛けられた複
数の隠しカメラの前で、清純派女優にはある
まじきあまりに卑猥でドスケベな雌の本性を
見せてしまい、その時の映像をネタに一部の
番組関係者から脅され、屈辱の奴隷契約を強
いられることになったのだ。
その後舞い込んできた自ら主演する連続ド

たのは、撮影スタジオではなく、とあるスポーツクラブが入る雑居ビルの前であつた。今日のドラマの撮影現場は、スポーツクラブの中にある屋内プールだつたのだ。あらかじめ入念に台本を読み込んできた結衣は、自分がここでもういう芝居をしななければいけないのか、主演女優としてしっかりと演技プランを頭の中に描いてきていた。しかし、それはまた相手役のアドリブの演技によつて儚くも崩れ落ちていくかも知れない事も結衣は心の片隅で覚悟していた。どれだけ台本に忠実な演技プランを思い描いていても、相手役の俳優が全く台本を無視したアドリブの演技を続ければ、芝居は全く予測できない方向へと展開してしまう事になるのだ。それでも結衣は、二十四歳という若手ながらも主演女優としてのプライドと強い責任感から気持ちを強く持つて、撮影現場のスポーツクラブの中へ入つて行くのだつた。

主演の結衣がスポーツクラブの中に入って来ると、すでに待機していたドラマのスタッフ達は大きな声で挨拶をした。しかし、その表情は皆、なぜか意味深な笑みを浮かべていた。おはようございます。今日もよろしくお願いいたしますー

結衣は毅然とした態度でスタッフ達に挨拶をしながら控え室の方へと歩いていったが、スタッフ達が自分に向けて来る意味深な笑みが気になって仕方なかった。どうしてみんな私達の事を見て笑ってるの？スタッフ達が向けて来る意味深な笑みは、明らかに清々しいものではなく、結衣の事を嘲笑っているような邪な想いがひしひしと感じられた。

そして、結衣はすぐにその邪な想いの正体を直感した。先日夜の住宅街での撮影で、五味の陰湿なアドリブの演技によって操られ素っ裸になった上、立ちオニーまでしていった自分の姿を、スタッフ達は脳裏にくっつき

りと焼き付け、今まさに思い浮かべているに
違いないのだ。そして、澄ました顔で撮影現
場に現れた自分の姿とのギャップを笑ってい
るのだろう。スタッフ達の浮かべる意味深な
笑みの意味を悟った結衣は、急に激しい羞恥
に襲われ顔を真っ赤に染め上げると、逃げる
ように足早に控え室に向かった。
控え室に入った結衣が、高鳴る鼓動を必死
に鎮めようとしていると、突然扉をコンコン
と叩く音がして、扉の外から相手役の五味が
いきなり入って来たのだった。
「お、おはようございます」
忌まわしき相手役の顔を見た結衣は、思わず
たじろぎ、震える声で挨拶した。
「おはよう。今日もよろしく」
無名俳優の五味は、役者としての地位は主演
を務める結衣とは雲泥の差があるにも関わら
ず、不敵な笑みを浮かべながら完全に上から
目線で挨拶した。

「結衣ちゃん、こないだはすばらしい演技を
見せてくれてありがとう。あの夜は興奮して
眠れなかったよ。清纯派女優さんだとばかり
思ってたけど、あんな大胆な演技を恥ずかし
げもなく演じる事ができるなんて、結衣ちゃ
んは本当に幅の広い女優さんなんだね。若い
のにたいしたもんだよ」
五味は、主演女優を精神的に甚振るかの如く、
先日の撮影現場で結衣が素っ裸になり立ちオ
○ニ―まで披露した時の事を蒸し返すようにに
言い放った。
「あ、ありがとうございます。・・」
結衣はあまりの恥ずかしさに顔を真っ赤に染
めながら、適当に言葉を返すしかなかった。
「今日も結衣ちゃんのすばらしい演技を見せ
てもらえるのを楽しみにしているよ。俺もバ
チバチいくから、結衣ちゃんもこないだより
もっと大胆な演技を頼むよ！」
五味はそう言うのと、最後にもう一度不敵な笑
みを見せ、結衣の控え室から出て行った。

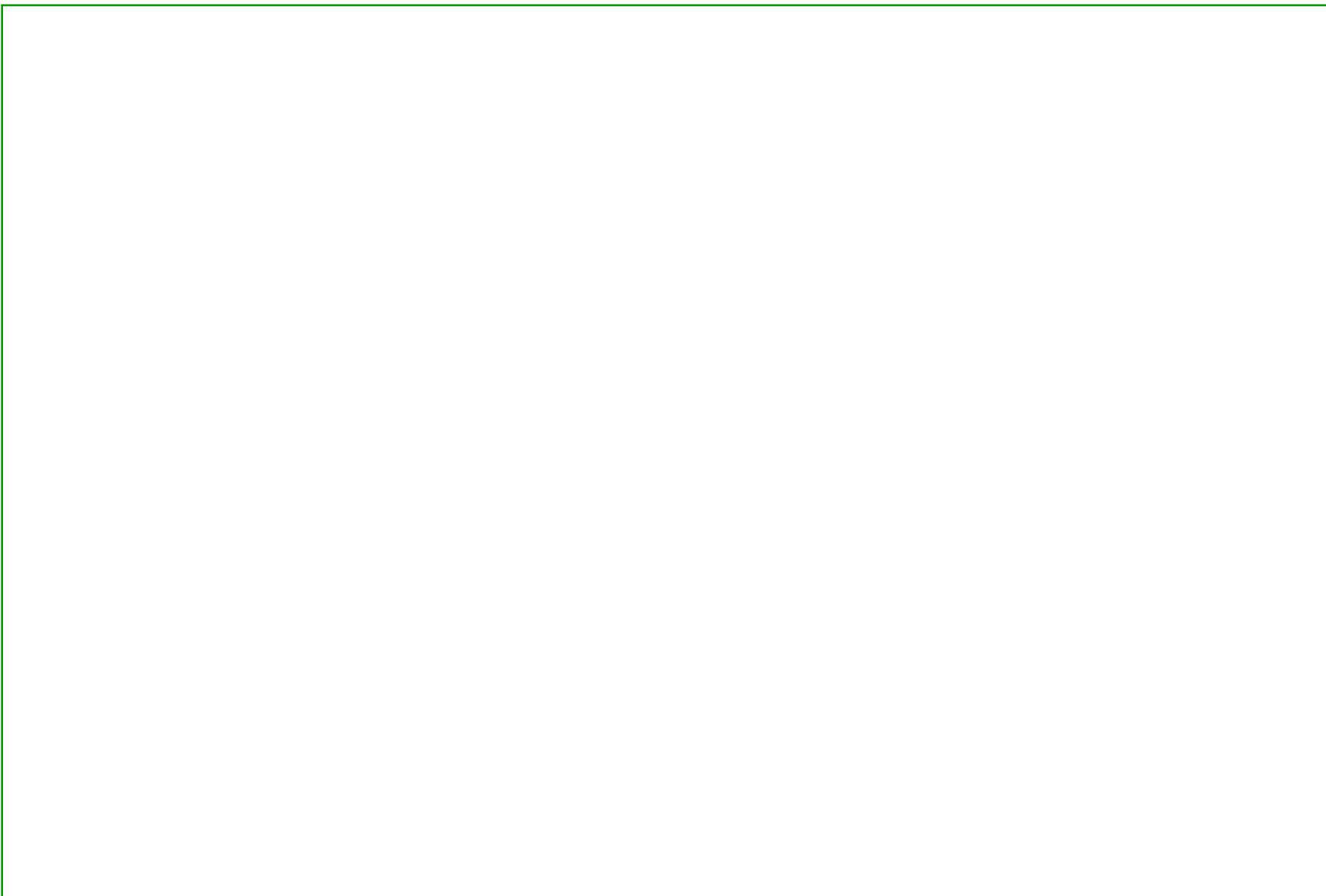
どうしよう・・・。相手役の五味の宣戦布告ともとれる発言を受けた結衣は、どうしようもない不安と恐怖に心が覆われると同時に下半身からジワツ―と熱が帯びてくるのを感じていた。こないだよりもっと大胆な演技をしなればいけないなんて、あの人は一体私に今日は何をさせるつもりなの・・・。もしかしてまた、素っ裸でオニーでもさせられるの・・・？もうそんなの絶対ヤダ。結衣は高鳴る鼓動を鎮めるところか、心臓が破裂してしまうのではないかと思うほど鼓動はさら狭間で撮影の始まる時を待った。

結衣はドラマスタッフの案内で屋内プール脇にある女子更衣室に向かい、そこでスタッフから渡された水着に着替える事になった。これから撮影するシーンは、五味演じる上司が休日にスポーツクラブのプールで泳いでいる所に、上司に対し異常なまでの恋愛感情を

抱く部下役の結衣が押し掛け、再びつく
交際を迫るという内容であった。結衣は狂気
に満ちた恋心を抱くOLになりきり、鬼気迫
る迫真の演技をしなければならなかった。
結衣自身、すでにここまで狂気に満ちた演
技を幾度も披露して来たことから、主演女優と
して、もはやある程度の覚悟はできていたが、
相手役の五味の予測不能なアドリブの演技だ
けが気がかりで仕方なかった。もしかしたら
また、屋内プールでエッチな演技を強要され
るかも知れない・・・。そうした不安が本番
が近づくにつれどんどん膨らんでいった。
スタッフから与えられた水着は白のワンピース
ースで、更衣室でそれに着替えた結衣は、水
着の生地が想像以上に薄い事に気付いた。結
衣の豊かな乳房が生地にピッタリ張り付いて
その形がくつきりと浮き上がり、後ろの方も
生地がお尻の割れ目に喰い込んでしまつて、
ムツチリとしたお尻の形がはつきり分かつた
さらに股間の辺りは、うっすらと黒い茂みが

透けて覗いていたのだ。こんな水着でお芝居
しなきゃいけないなんて・・・更衣室の中
にある鏡の前に立ち、自分の水着姿を見た結
衣は、思わず透けた胸を両手で隠し途方に暮
れた。こんなオツパイの形まではつきり分か
る水着で演技するわけにはいかないわ、スタ
ッフさんに言っただけの水着に交換してもら
なきゃ・・・結衣がそう思ったその時、更
衣室の扉が開き、女性マネージャーの武田が
現れた。
「結衣ちゃん、何やってるの？皆さんあなた
を待っているのよ。早く行きなさい！」
武田は厳しい口調で結衣を叱責した。
「武田さん、この水着見て下さい。こんな
あんまりだと思いませんか？だから私、別な
水着に交換してもらおうと思っただけ」
結衣はマネージャーの武田に縋るような目を
向け訴えかけた。
「なに馬鹿な事を言ってるの！あなた主演な
のよ、たかが水着くらいでごちゃごちゃ言っ

て いる ん じ ゃ な い わ よ ！ オ ッ パ イ を 見 ら れ よ
う が 、 素 つ 裸 に さ れ よ う が 、 堂 々 と 演 技 す れ
ば い い の ！ ー
武 田 は さ ら に 声 を 荒 げ 激 昂 し 、 結 衣 を 責 め た
結 衣 は 、 マ ネ ー ジ ャ ー と し て 自 分 の 気 持 ち を
理 解 し て く れ る と 思 っ て い た 武 田 の 予 想 外 の
反 応 に 驚 き 、 ガ ッ ク リ と 項 垂 れ た 。
ー さ あ 早 く 撮 影 現 場 に 行 き な さ い ！ 主 演 女 優
と し て こ れ 以 上 迷 惑 掛 け る ん じ ゃ な い わ よ ！
武 田 が 強 く 責 め 立 て る と 、 結 衣 は 信 じ て い た
人 に 裏 切 ら れ た よ う な 喪 失 感 を 抱 い た ま ま 、
白 い ワ ン ピ ー ス の 水 着 を 着 た ま ま 控 え 室 を 後
に し た 。
今 日 の 撮 影 で も き つ と ま た 恥 ず か し い 目 に
遭 わ さ れ る ん だ わ ・ ・ ・ 。 結 衣 は 、 自 分 の 体
つ き を 強 調 す る よ う な 水 着 を 纏 っ て い る こ と
自 体 が 、 す で に 羞 恥 シ ョ ー の 始 ま り を 意 味 し
て い る よ う に 感 じ 、 絶 望 的 な 想 い に 浸 り な が
ら ド ラ マ ス タ ッ プ が 待 つ 屋 内 プ ー ル へ と 向 か
っ た 。



■ 海老沢薫 B L O G

<http://kaoruebisawa.blog.fc2.com/>

・ ・ ・ 「羞恥」 「露出」 「辱め」 をテーマとした小説シリーズや、各種コンテンツ情報などを配信。

■ 海老沢薫 Web 連載小説

『 清楚な美人妻 彩 27 歳 絵画モデル編 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=9281>

『 清純派女優 結衣 24 歳 ー 国民のペットへと堕ちていくヒロイン ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=18802>

『 清純派女優 結衣 24 歳 ー 女神の憂鬱 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=26675>

『 女教師 玲奈 25 歳 ー 女性教諭の前代未聞の不祥事 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=17186>

『 美人社長 里帆 26 歳 ー 若き女社長のプライドを砕く屈辱の契約 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=18885>